

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング ～ 宣言6週目の推移 ～

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング

<要点>

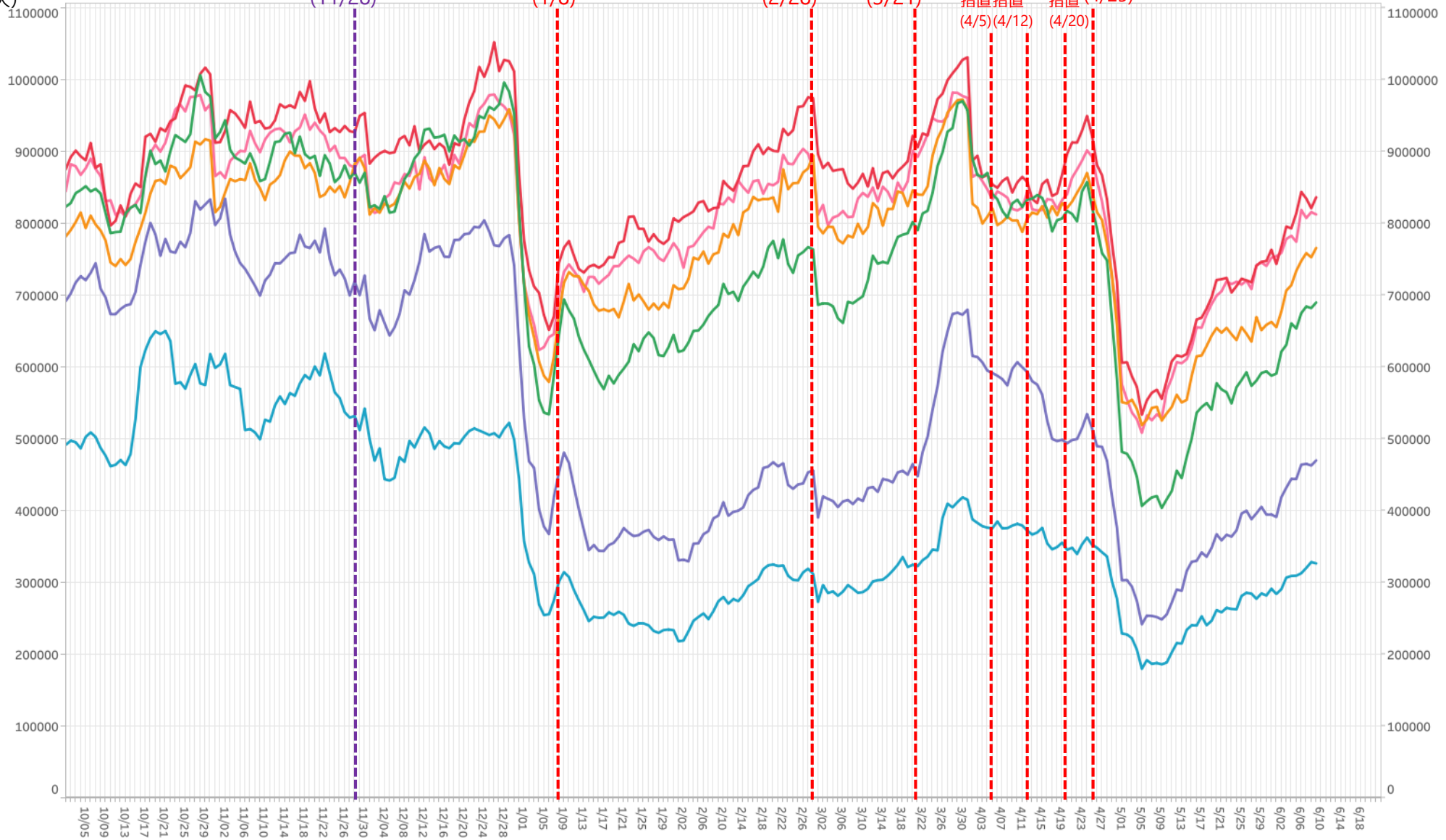
- レジャー目的の繁華街滞留人口は4週連続で増加。宣言2週目（5月2日～8日）の水準に比べ、夜間で32%、昼間で26%増加。宣言延長後、さらに増加が顕著となっており、特に夕方から夜にかけての人流増加が目立つ。
- 人流増加が続いている影響で、近く新規感染者数が下げ止まり、再び感染拡大へと転じる可能性が高く、強い警戒が必要。
- この緊急事態宣言中に可能な限り徹底してレジャー目的の人流を抑制していく必要がある。

時間帯別主要繁華街滞留人口の日別推移：東京（2020年10月1日～2021年6月9日）

緊急事態4/25-

繁華街
滞留人口
(人)

時短要請開始 (11/28) 緊急事態宣言 (1/8) 6府県解除 (2/28) 都解除 (3/21) 3府県重点措置 (4/5) 3都府県重点措置 (4/12) 4県重点措置 (4/20) 緊急事態宣言 (4/25)

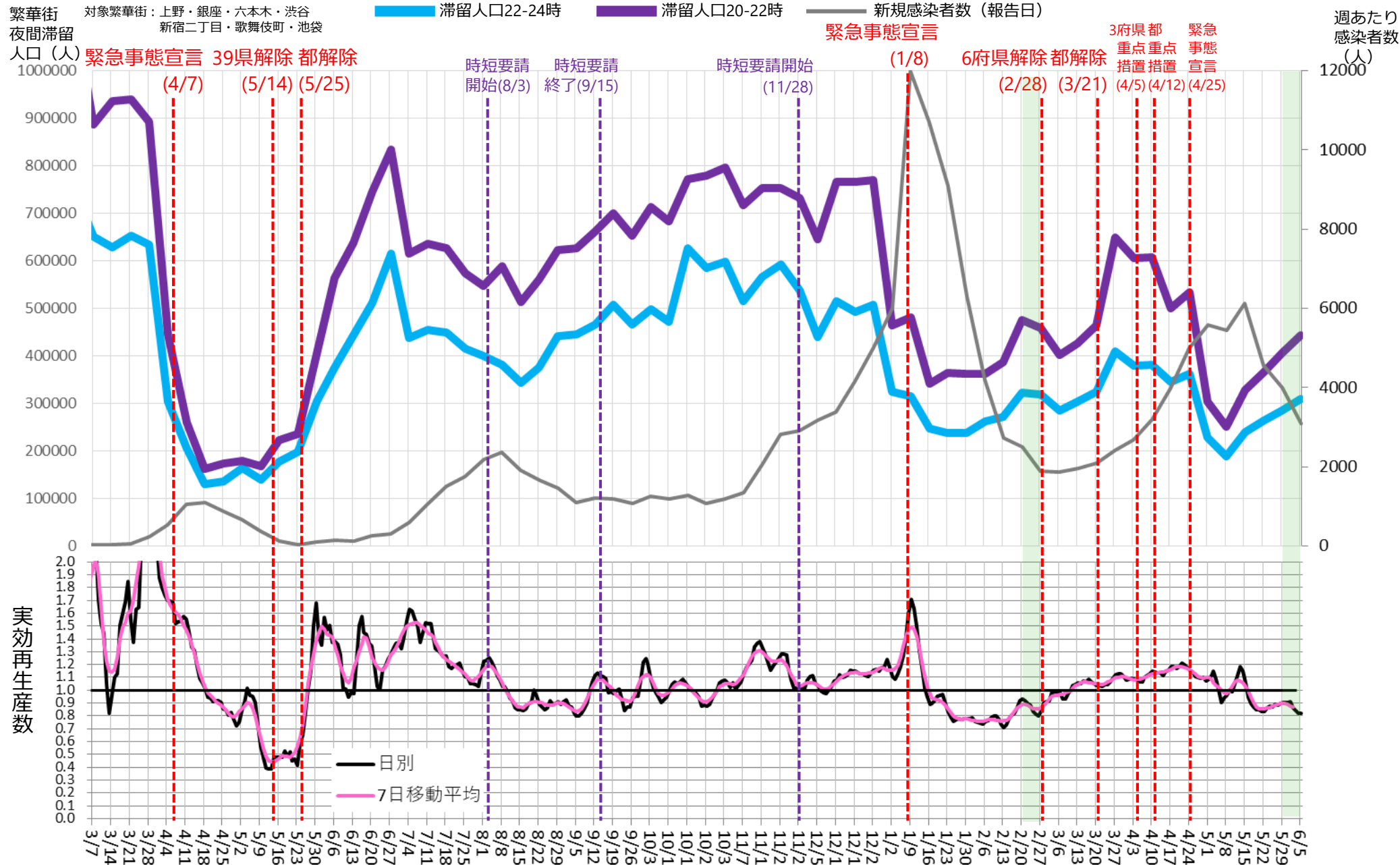


■ 滞留人口12-14時 ■ 滞留人口14-16時 ■ 滞留人口16-18時 ■ 滞留人口18-20時 ■ 滞留人口20-22時 ■ 滞留人口22-24時

※対象繁華街は歌舞伎町・銀座コリドー街・渋谷センター街・上野仲町通り・新宿二丁目・池袋・六本木

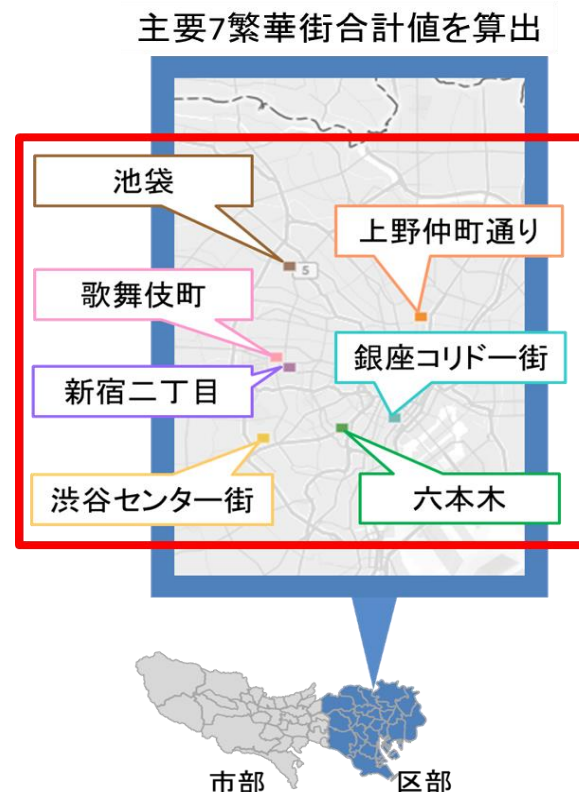
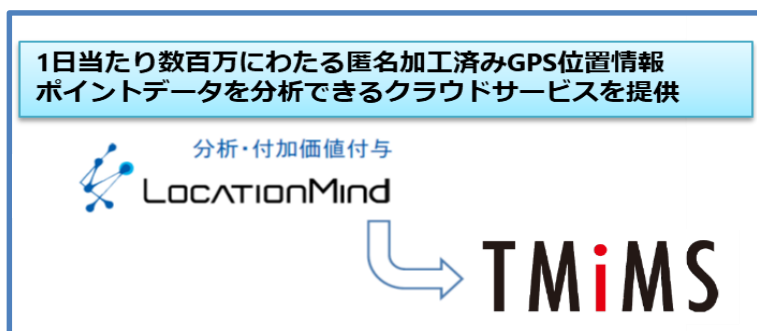
主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年6月5日)

緊急事態4/25-



ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定** ※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC**



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント